

地域の誰もが明るく豊かに！！



タオルリースの洗濯事業を始めました。
(航生活介護事業所 マーレ)

後援会は すみなす会を応援しています！

EVパワーステーションを寄付しました

災害時の停電に備えて、電気自動車の電力を建物内で利用できる「EVパワーステーション」を寄付しました。この機器は人気が高く、欠品が続いていましたが、ようやく設置することができました。

1月の能登半島地震の甚大な被害は記憶に新しく、すみなす会でも災害対策の強化を喫緊の課題と捉え取り組んでいます。備蓄や訓練はもちろんですが、事業継続に向けた、水道・電気・ガス・通信などのライフラインの整備も進める予定です。

後援会の皆様からの貴重な会費を有効に活用し、引き続きすみなす会の災害対策を応援していきます。



すみなす会本部地下駐車場に設置しました。災害時には電気自動車にハンドルを接続しその電気を本部に送ります。情報の維持と外部との通信に役立てられます。



障害者支援施設 航



Mare マーレ
イタリア語で
「海」という
意味です。

生活介護事業所「マーレ」開所しました！

マーレは、もともと航の生活介護で実施していたタオルリースの洗濯業務を実施する事業所として活動を始めました。利用者さんは12名で、洗濯業務だけでなく、個々に合った活動を楽しめる事業所を目指していきます。



ここで活動しています



この洗濯機でタオルを洗います



乾燥ホカホカのタオルを畳みます



どんどん畳みます



にここに畳みます



洗いたてタオルを車に積んで



お届けして納品完了



お昼は温かいみそ汁がついた給食。



お散歩も日課です。天気の良い日は気持ちがいいです。



休憩はトランプをしたり



のんびり過ごします



自立課題（絵合わせ）にも取り組んでいます

生活介護事業 活動班を再編成

新規事業（マーレ）の開始に伴い、航の生活介護事業も大幅な再編成を実施しました。今までと名前が変わり、活動場所も広くなりました。活動もひとりひとりに合った活動を提供して行きたいと思っています。

New ハーバー

創作活動（粘土、編み物）レクリエーション活動、園芸活動、リハビリ活動（散歩、運動プログラム）

New ファーロ

下請け作業、自立課題、ドライブ、散歩
構造化された空間で活動を実施。

New ソレイユ

創作活動（粘土、アイロンビーズ、手芸等）
自立課題（パズル、ブロック等）

New はこぶね

物品配達、運動活動（散歩、運動プログラム）
自立課題（パズル、ブロック等）

※アクティブ、リサイクル、和海、羅針盤、コパン、アミーは大きな変更はありません

地域支援センター



#お出かけ #シーパラ #外食♪

センターの事業をご紹介します



どんなことをしているの？

金沢区障害者後見的支援室 帆海



帆海のメンバーです

「後見的支援制度とは」親なき後も障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らすことを願う思いを支援する為の横浜市独自の制度です。

- ・障がいのある人が願う地域での暮らしが実現できる方法を一緒に考えていきます
- ・地域の中で障がいのある人の見守りの輪を広げていきます。



パネルシアターを使った制度の説明



ご登録者とご家族との懇談会

ケアステーション心海

障がいのある方も住み慣れた地域で安心した生活をするお手伝いをしています。

- ・学校や活動先への送迎をする通学通所支援、休日等の外出時に同行をする移動支援・行動援護を行っています。



休日の外出を支援します。この日は動物園にやってきました



担当の前田さん



送迎の様子

コラム vol.13 ~支援者の根本に立ち返る~

◆◆◆◆◆ 住み成す ◆◆◆◆◆

これまで、当然のことではありますが、どのような障がいがあるうとも、その人には必ず意思があるという前提に立って、一人ひとりに合わせた個別支援計画を作成し支援を行ってきました。今後、個別支援計画の作成や振り返りに関する個別支援会議においては、原則、利用者ご本人が参加し意向を確認することとなっています。これまでも意向を踏まえて支援を行ってきましたが、「どのように意向を確認したか」「どうして現在の支援を行っているのか」など、より明確にご利用者・ご家族に対して説明することが求められていることを意味しているのではないかと思います。

障がい福祉においては、社会の動向や制度の変化に伴って、事業者にも様々な取り組みが求められる時代となっています。しかし、どんなに制度が変わろうとも、ご利用者がその人らしく暮らし、いていくために、我々は何を成すべきかという支援者の根本に立ち返る機会となったように感じています。引き続き、ご支援のほどよろしくお願いたします。



地域支援センター
センター長 西川 智久

こんにちは。地域支援センターの西川です。センターに異動してから、あっという間に一年が経ちました。グループホームを訪問したり、ヘルパーとしてご利用者の支援に当たったり、職員と一緒に仕事をして行く中で、これまで長く仕事をしてきた入所施設とは違った地域での暮らしのあり方を実感しています。

さて、令和六年度は、障害福祉サービスの三年に一度の報酬改定がありました。報酬改定と同時に大きな制度改正が行われることも多いのですが、その中で大きなトピックとしては、「意思決定支援」の配慮について、明確に位置付けられたことだと思えます。

これまでも、当然のことではありますが、どのような障がいがあるうとも、その人には必ず意思があるという前提に立って、一人ひとりに合わせた個別支援計画を作成し支援を行ってきました。今後、個別支援計画の作成や振り返りに関する個別支援会議においては、原則、利用者ご本人が参加し意向を確認することとなっています。これまでも意向を踏まえて支援を行ってきましたが、「どのように意向を確認したか」「どうして現在の支援を行っているのか」など、より明確にご利用者・ご家族に対して説明することが求められていることを意味しているのではないかと思います。



@RINGONOMORI_2004

ラ・ヴァリエッタ 久遠チョコレートのバレンタイン

#インスタグラム始めました!!
#ベーカリー班

障害福祉サービス事業所 la varietta では、今年のバレンタインも沢山の皆様にご来店いただきました。特に今回は、ご利用者がチョコレートを作っている姿を2月放送のカナフルTV（神奈川テレビ）で紹介され、過去1番の忙しさでした。



ハッピーバレンタイン♪



一番人気のテリーヌショコラ♪



カナフルTVで紹介されました！

ネーブル

ペットボトルキャップ リサイクル

障害福祉サービス事業所ネーブルでは、ペットボトルキャップの色分け作業をしています。洗浄・乾燥したキャップを色ごとに分ける作業があり、細かい作業が得意なご利用者に力を発揮してもらっています。多い時には、1か月に約4万個を仕分けることもあります。



一つひとつ丁寧に色分け作業をしています。



カラフルなキャップがいっぱい！



ボランティアさんをご紹介します

りんごの森でボランティアをされている松井さんをご紹介します。



ボランティアの松井さん

Q：りんごの森を知ったきっかけは？

A：大学の先生に紹介されたことがきっかけです。高校生の時にも障害分野でボランティアをしていて、興味があったので応募しました。

Q：活動をしていて楽しいことはどんなことですか？

A：主にベーカリー班での活動に参加していますが、パン作りの作業を通じて、利用者さんと話すことができ楽しいです。

Q：活動をしていて大変に感じることはありますか？

A：ベーカリー班では、パンの販売も行うのですが、初めは何をどうすればいいのかわからず大変でした。今は少しずつ慣れてきましたが…あと、ご利用者と職員の顔・名前を覚えることが大変でした。

Q：ボランティアをする際に、心掛けていることを教えてください。

A：ご利用者へ必ず挨拶をすることを心掛けています。また、ご利用者から声をかけられたら、どんなに忙しい時も話すようにしています。

Q：最後に、今後の目標についてお聞かせください。

A：今大学4年生で、これから就職活動を控えているのでボランティアの経験を活かして障がいに関係するところで働きたいと考えています。

釜利谷地域ケアプラザ



#折り紙 #こいのぼり #お好み焼き #ドッグセラピー #花水やり

地域包括支援センター

生活支援体制整備事業

「釜利谷みんなの情報シート」「釜利谷みんなのお買い物情報」を更新しました!

<釜利谷みんなの情報シート>

釜利谷地域ケアプラザでは、釜利谷周辺地域で行われているサロンやスポーツ、趣味の会などを掲載した〈釜利谷みんなの情報シート〉を作成しています。「家の近くで気軽に麻雀がしたいなあ・・・」「実は、ポッチャがやってみたい」「歌が大好きで、思いっきり歌いたい!」などの要望が民生委員やケアマネジャーなどに寄せられたときに、すぐに情報が調べられるようにと思い、平成28年に初版を発行しました。以降、毎年情報を更新しています。

<釜利谷みんなのお買い物情報>

お買い物の際「お米が重いけど配達してもらえないかしら・・・」「美味しいお豆腐が食べたいわ」こんな声にお応えするべく〈釜利谷みんなのお買い物情報〉を発行しています。こちらも毎年更新し釜利谷周辺のお店の情報をお伝えしています。最新版は写真を多くすることでより見やすく、内容も詳しくしました。どちらの冊子も個人向けではなく、民生委員・ケアマネジャーなどの支援者向けとなっています。



左：釜利谷みんなの情報シート
右：釜利谷みんなのお買い物情報



サロン、スポーツ、趣味の会などの情報を載せています



分かりやすく地図も掲載しています

ご利用者の"声" 芦澤 恵津子さん



すみなす会で長くお掃除のお仕事をされていた芦澤さん、今はこちらのデイサービスに通われています。ご利用についてインタビューしました!

Q: いつからすみなす会で働いていたんですか?

A: 開所して2.3ヵ月くらいかな、ここの建物がまだなくて、事務所が掘っ立て小屋(プレハブ)だった頃に面接に行ったんだよ。それから15年以上働いたよ。

Q: お仕事で大変だったことは?

A: なかったよ! まだ若い頃は裏の崖に上って草を刈ったりね! でも何も苦労だとは思わなかった。楽しかったよ。ここの人たちはみんな良いからね~

Q: このデイサービスを利用することになったきっかけは?

A: お嫁さんと息子が決めてくれたの。そろそろ来ても良い年頃だとは思ってたけど(笑)

Q: 利用してみてどうですか?

A: みんないい人ばかりで、話ができ楽しいよ。家にいると体を動かすことも少ないからここに来ると良いね。体が許す限りは来たいと思うよ!



柳町地域ケアプラザ



#フラワーアレンジ #スイートポテト #すいとん #デイサービス

地域包括支援センター

講演会を開催しました

「あなたの気づきがお近所パワー」
～ちょっとした気づきを「ことば」にしてみませんか～

講師 関東学院大学社会学部現代社会学科 小沼春日教授

3月5日、地域の皆様と考える機会を持ちました！

生活していく上で、ちょっとした「手伝って欲しいこと」を住民同士で補い合い、互いに協力し合えるまちづくりをするためにはどうしたら良いかと小沼教授に相談し、毎日の暮らしの中で皆が何気ない助け合いをしていますがそこに気づくことからだとのお話をいただきました。そしてこの講演会の開催へとつながりました。

講演会の中で気づきのワークを行いグループで発表し合いました。それぞれの思いを互いに「ことば」にすることで、いろいろな気づきにつながったようです。

まとめでは、①SOSを発信することは勇気がいると知り、お互い様、SOSを出せたという勇気を尊重する文化を作ること ②集団で助け、助けられる経験を積む大切さ等、「受援力」を高める視点について共有しました。

今回は地域の会長、民生委員、シニアクラブの役員等多くの皆様にお越しいただき、今後のまちづくりにつなげていきたいと思いをしました。



始めの一步は思いを互いに「ことば」することから



地域の皆様と一緒に考える貴重な時間となりました

デイサービス

ひな祭り

3月3日ひな祭りのお祝いをしました。今年は「ひな祭り・顔パネル」を作成し、希望者には記念撮影を行いました。すすんで顔を出してください、笑顔が素敵です。お食事は「ひな祭り御膳」！とても彩りよく豪華で、皆様、お食事を堪能されていました。



1の姫、2の姫、3の姫・・・
皆さん笑顔がとても素敵です。



「ひな祭り御膳」
ちらし寿司に天ぷら、煮物、お吸い物、フルーツなどなど



美味しく召し上がっていただきました！

ご報告

能登半島地震「1.5次避難所」に介護職員を派遣しました

まだまだ復興への道のりが遠い石川県の「1.5次避難所」に、介護職員として生活支援体制整備事業の吉元コーディネーターを派遣しました。

「1.5次避難所」とは、被災した高齢者や障害のある方など要配慮者が設備の整った施設やホテル等の「2次避難所」に入所・調整がつくまで滞在する避難所です。入所者、支援者とも出入りが激しく、とりまとめや連携を取るのが大変難しい状況です。しかし、入所されている方の持っている力を大切に、今できる支援を一杯行おうという避難所のテーマを意識しながら、吉元コーディネーターは3月25日～27日の3日間、高齢者の支援活動に携わってきました。

現場はまだまだ支援が必要な状況だということです。引き続き被災地を応援していきたいと考えています。



派遣先
いしかわ総合スポーツセンター

社会福祉法人すみなす会

「すみなす＝住み成す」地域の誰もが明るく豊かに！
 子供も、大人も、お年寄りも、障がいのある人も



1989年 芽生え
 すみなす会 誕生
 1999年

- ★障がい福祉の部門：航・りんごの森・地域支援センター
- ★高齢福祉・地域交流の部門：釜利谷地域ケアプラザ・柳町地域ケアプラザ

すみなす会後援会

- ・すみなす会の新事業等の取組みや、事業運営の充実を主に財政面から支えます。
- ・すみなす会への物品の寄付、功労者の表彰、法人運営への提言を行います。
- ・会報を年2回発行し、すみなす会の福祉事業の周知に努めています。
- ・具体的な活動と決算は会報で報告しています。

後援会ホームページ

頒 価 五〇円

発行所 すみなす会後援会
 〒二三六〇〇四五
 横浜市金沢区釜利谷南二・八・一

編集責任者 加藤邦紘
 電話 〇四五七七八・二九〇一

発行所 神奈川県障害者定期刊行物協会
 横浜市港北区鳥山町一七五二番地
 障害者スポーツ文化センター
 横浜ラポール三階横浜車椅子の会内

後援会会費はこちらまで

個人会員	1口	3,000円
法人会員	1口	10,000円
寄附金	随意	(上記の金額以外)

下記の口座に直接お振込みください。
 ゆうちょ銀行 00230-5-18765
 社会福祉法人すみなす会後援会

←インターネットからも会費を納入いただけるようになりました。

後援会会員を募集しています。

すみなす会後援会は、会費・寄附金を資金とし、すみなす会を支援する活動をしています。入退会は自由で、会費の納入と同時にその年度の会員となっています。

ご意見は下記までお寄せください。役員会への参加も歓迎しています。活動の様子や収支状況、その年の会員名簿は会報で報告しています。

【問合せ】045-788-2901
 後援会事務局
 s-ko-en@suminasu.or.jp

※後援会ホームページからも納入いただけます。